

# WebSAM DeploymentManager

SQL Server 2005 製品版へのデータベース構築手順書

— 第4版 —

# 目次

目次.....	2
はじめに.....	3
1 SQL Server 2005 製品版へのアップグレード .....	4
2 SQL Server 2005 製品版へのデータベース(DPM インスタンス)の構築/設定 .....	8
2.1 データベース(DPM インスタンス)の構築.....	8
2.2 データベース(DPM インスタンス)の設定.....	12
2.3 管理サーバ for DPM のインストール .....	13
3 アンインストール .....	18
3.1 データベース(DPM インスタンス)のアンインストール.....	18

## はじめに

本書は、DeploymentManager(以下、DPM)で SQL Server 2005 製品版を使用するための手順書です。DPM では、管理対象コンピュータの情報などの管理用に Microsoft 社が無償で提供している SQL Server 2005 Express Edition を使用していますが、有償の SQL Server 2005 Standard Edition/Enterprise Edition を使用方法について説明します。

### [対象製品]

- WebSAM DeploymentManager Ver5.1 Standard Edition [REVISION:001～004]
- WebSAM DeploymentManager Ver5.1 Enterprise Edition [REVISION:001～004]
- WebSAM DeploymentManager Ver5.22 for SSC ※

※SigmaSystemCenter、VirtualPCCenter に同梱している製品となります。

### ヒント

REVISION は、製品 CD-ROM のラベルに記載しています。

なお、「WebSAM DeploymentManager Ver5.1 アップデートモジュール」(NEC サポートポータル [有償] サイトにて公開)を適用済みの環境については、それぞれ以下のリビジョン相当となります。

- WebSAM DeploymentManager Ver5.1 アップデートモジュール(DPM510-001.EXE、DPM\_Patch\_J.zip)を適用済みの環境: REVISION:002
- WebSAM DeploymentManager Ver5.1 アップデートモジュール(DPM510-003.EXE)を適用済みの環境: REVISION:003
- WebSAM DeploymentManager Ver5.1 アップデートモジュール(DPM510-004.ZIP)を適用済みの環境: REVISION:004

なお、本書は、上記の対象製品を x86 OS に構築する場合が対象です。

### 注意

DPM で SQL Server 2005 製品版を使用する場合は、管理サーバ for DPM は、データベース(DPM インスタンス)と同じコンピュータにインストールしてください。

### ヒント

- 本書では、SQL Server 2005 Standard Edition/Enterprise Edition を「SQL Server 2005 製品版」と表記します。
- 本書で説明しているインストール手順以外は、ユーザズガイドを参照してください。
- 新しいユーザズガイドが、製品サイト(以下)に公開されている場合は、製品サイト掲載のユーザズガイドを参照してください。
  - DPM Ver5.1  
[http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/deploy\\_win/](http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/deploy_win/)
  - DPM Ver5.22 for SSC  
<http://www.nec.co.jp/middle/WebSAM/products/SigmaSystemCenter/>

ご利用の環境に応じて、以下のいずれかの章を参照してアップグレードを行ってください。

- DPM を構築済みの環境でデータベース(DPM インスタンス)を SQL Server 2005 Express Edition から SQL Server 2005 製品版にアップグレードする場合: 「1 SQL Server 2005 製品版へのアップグレード」
- 構築済みの SQL Server 2005 製品版にデータベース(DPM インスタンス)を構築する場合: 「2 SQL Server 2005 製品版へのデータベース(DPM インスタンス)の構築/設定」

## 1 SQL Server 2005 製品版へのアップグレード

本章では、構築済みのデータベース(DPM インスタンス)を SQL Server 2005 Express Edition から SQL Server 2005 製品版にアップグレードする手順について、説明します。

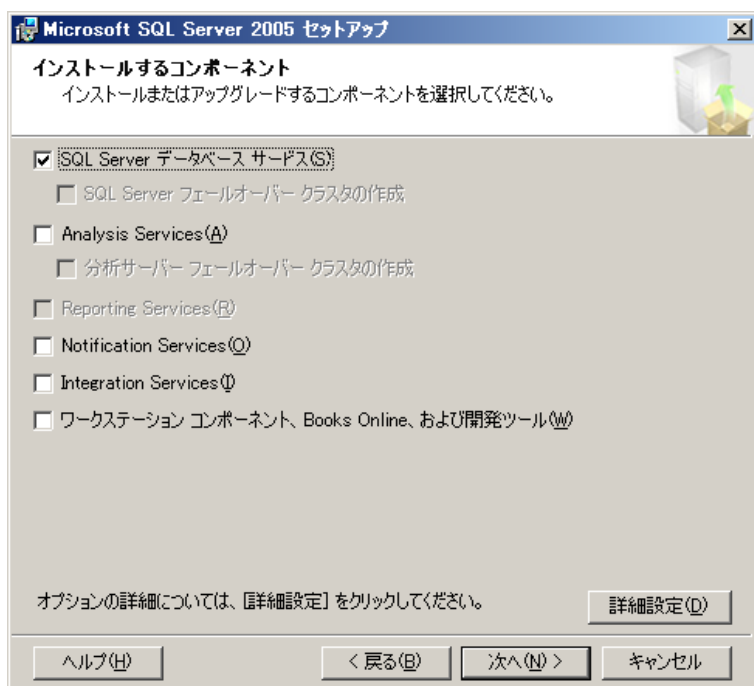
### 注意

- DPM Ver5.22 for SSC を使用している場合は、SigmaSystemCenter のインストールガイドを参照してください。
- SQL Server 2005 製品版へアップグレードを行う前に、以下の URL を参照してアップグレードについての注意事項を確認してください。  
[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms143393\(SQL.90\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms143393(SQL.90).aspx)

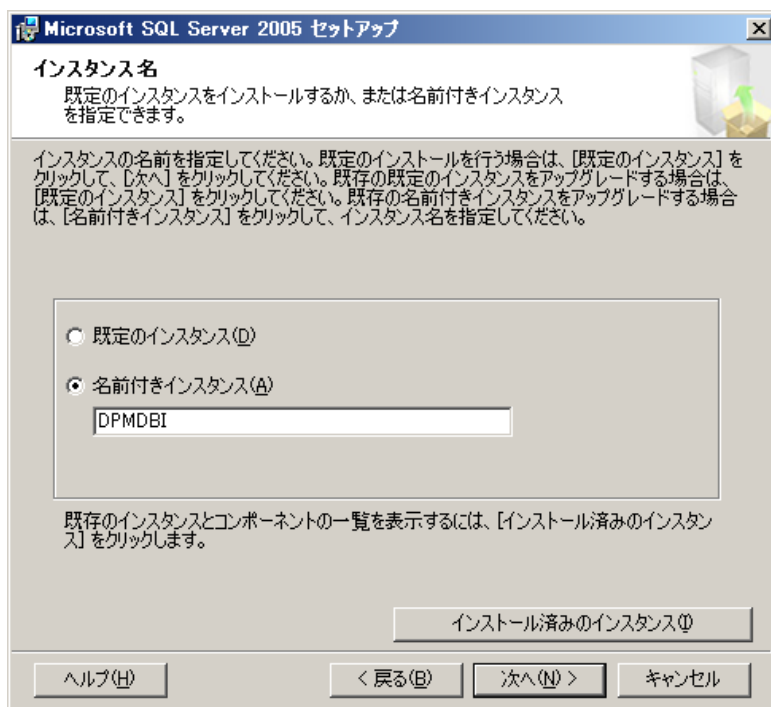
- (1) データベース(DPM インスタンス)がインストールされたコンピュータに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」を選択します。
- (3) 「サービス」画面が表示されますので、表示されたサービスの一覧から「DeploymentManager」で始まる名前のサービスをすべて停止します。
- (4) SQL Server 2005 製品版の CD(1 枚目)、または DVD を(DVD/CD-RW)ドライブにセットします。インストーラの画面が自動起動した場合は終了してください。
- (5) コマンドプロンプトを起動し、カレントフォルダを(DVD/CD-RW)ドライブ配下の以下のフォルダに移動します。
  - ・CD の場合: ルート直下
  - ・DVD の場合: 「Servers」フォルダ
- (6) 以下のコマンドを実行して、「インストールするコンポーネント」画面まで、表示される画面に従って操作を進めてください。

```
start /wait setup.exe ADDLOCAL=SQL_Engine INSTANCENAME=DPMDBI UPGRADE=SQL_Engine SKUUPGRADE=1
```

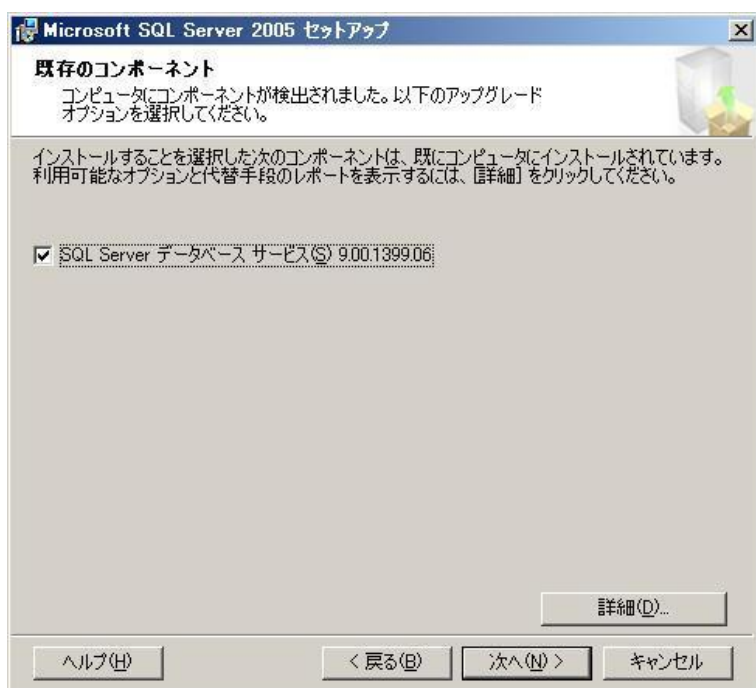
- (7) 「インストールするコンポーネント」画面で、「SQL Server データベース サービス」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



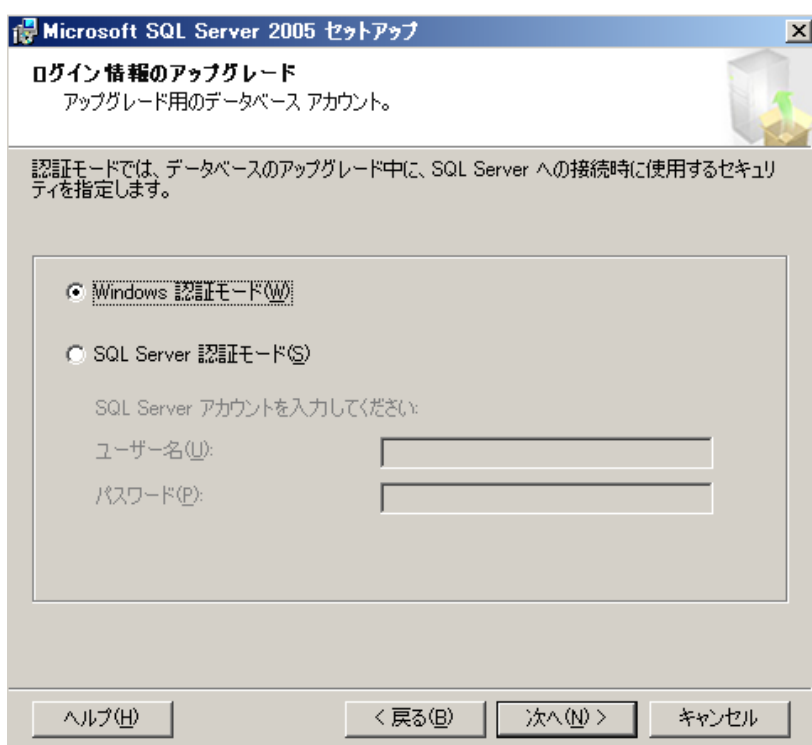
- (8) 「インスタンス名」画面で、「名前付きインスタンス」に「DPMDBI」と入力して、「次へ」ボタンをクリックします。



- (9) 「既存のコンポーネント」画面で、「SQL Server データベース サービス」にチェックを入れて、「次へ」ボタンをクリックします。



- (10) 「ログイン情報のアップグレード」画面で、「Windows 認証モード」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



- (11) 「Microsoft SQL Server 2005 セットアップの完了」画面で、「完了」ボタンをクリックします。

- (12) (3)で停止したサービスを全て開始します。

以上で、SQL Server 2005 製品版へのアップグレードは完了です。

**注意**

DPM は、SQL Server 2005 Service Pack 2 以降をサポートしています。  
SQL Server 2005 製品版へのアップグレードが完了した後に、Microsoft社のサイトから Service Pack 2 以降をダウンロードして、対象のインスタンスに適用してください。

## 2 SQL Server 2005 製品版へのデータベース(DPMインスタンス)の構築/設定

本章では、構築済みの SQL Server 2005 製品版にデータベース(DPM インスタンス)を構築/設定する手順について、説明します。

### 注意

「2.1 データベース(DPM インスタンス)の構築」、「2.2 データベース(DPM インスタンス)の設定」を参照してデータベース(DPM インスタンス)を構築/設定した後に、「2.3 管理サーバ for DPM のインストール」を参照して、データベース(DPM インスタンス)と同じコンピュータに管理サーバ for DPM をインストールしてください。

### 2.1 データベース(DPMインスタンス)の構築

- (1) データベース(DPM インスタンス)を構築するコンピュータに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) ユーザーズガイド 導入編「2.2.2 データベースのカスタムインストール」を参照して、.NET Framework と、.NET Framework 日本語 Language Pack をインストールします。
  - ・DPM Ver5.1(REVISION:001～003)を使用している場合：  
「インストール方法の選択」画面で「.NET Framework 3.0」にチェックを入れることで、.NET Framework 3.0 と、.NET Framework 3.0 日本語 Language Pack Service Pack 1」のインストールを行います。
  - ・DPM Ver5.1(REVISION:004)、Ver5.22 for SSC を使用している場合：  
「インストール方法の選択」画面で「.NET Framework 3.5」にチェックを入れることで、.NET Framework 3.5 と、.NET Framework 3.5 日本語 Language Pack Service Pack 1 のインストールを行います。

### ヒント

- REVISION は、製品 CD-ROM のラベルに記載しています。
- データベース(DPM インスタンス)を構築するコンピュータに.NET Framework (2.0 以上)が既にインストールされている場合は、改めて本手順にてインストールし直す必要はありません

- (3) SQL Server 2005 製品版の CD(1 枚目)、または DVD を(DVD/CD-RW)ドライブにセットします。



- (4) 以下の画面が表示されますので、「サーバーコンポーネント、ツール、Books Online、およびサンプル」をクリックしインストールを開始します。「インストールするコンポーネント」画面まで、表示される画面に従って操作を進めてください。



- (5) 「インストールするコンポーネント」画面で、「SQL Server データベースサービス」にチェックを入れて「次へ」ボタンをクリックします。



- (6) 「インスタンス名」画面で、「名前付きインスタンス」を選択した後に「DPMDBI」と入力して、「次へ」ボタンをクリックします。

- (7) 「サービス アカウント」画面で、「ビルトイン システム アカウントを使用する」を選択した後に、「ネットワーク サービス」を指定して「次へ」ボタンをクリックします。

- (8) 「認証モード」画面で、「Windows 認証モード」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

- (9) 「照合順序の設定」画面で、「照合順序指定子と並べ替え順序」を選択した後に、「Japanese」を指定して「次へ」ボタンをクリックします。

- (10) 残りの項目は既定値のままで問題ありませんので、「次へ」ボタンをクリックしてインストールを進めてください。

(11)「Microsoft SQL Server 2005 セットアップの完了」画面で、「完了」ボタンをクリックします。

以上で、データベース(DPM インスタンス)の構築は完了です。

**注意**

DPM は、SQL Server 2005 Service Pack 2 以降をサポートしています。  
データベースの構築が完了した後に、Microsoft社のサイトから Service Pack 2 以降をダウンロードして、対象のインスタンスに適用してください。

## 2.2 データベース(DPMインスタンス)の設定

(1) 「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前」に「regedit」を入力した後に「OK」ボタンをクリックします。

**注意**

レジストリエディタの使い方を誤ると、深刻な問題が発生することがあります。レジストリの編集には十分に注意してください。

(2) 以下のレジストリの「データ」の値の中で、「x」の箇所に記載されている数値を確認してください。

- ・ キー：HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Microsoft SQL Server¥DPMDBI¥Setup
- ・ 名前：SQLPath
- ・ データ：(SQL Server 2005 製品版インストールフォルダ)¥MSSQL.x¥MSSQL

例) データ：C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.2¥MSSQL

(3) 以下のレジストリを追加します。「x」の箇所には、(2)で確認した数値を記入してください。

- ・ キー：HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥DeploymentManager\_DB
- ・ 名前：DBInstallDir
- ・ データ：(SQL Server 2005 製品版インストールフォルダ)¥MSSQL.x¥MSSQL¥DATA

例) データ：C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.2¥MSSQL¥DATA

(4) コマンドプロンプトを起動して、下記コマンドを実行します。

```
osql.exe -n -E -S "localhost¥DPMDBI" -i "<CD-ROM>:¥Setup¥DB¥db_install.sql" -o "C:¥temp¥DBInst.log"
```

**ヒント**

「C:¥temp¥DBInst.log」は、ログファイルの出力先です。任意のファイルパスを指定してください。

(5) (4)で作成した「DBInst.log」に下記のような情報が出力されていれば、データベースの設定は完了です。

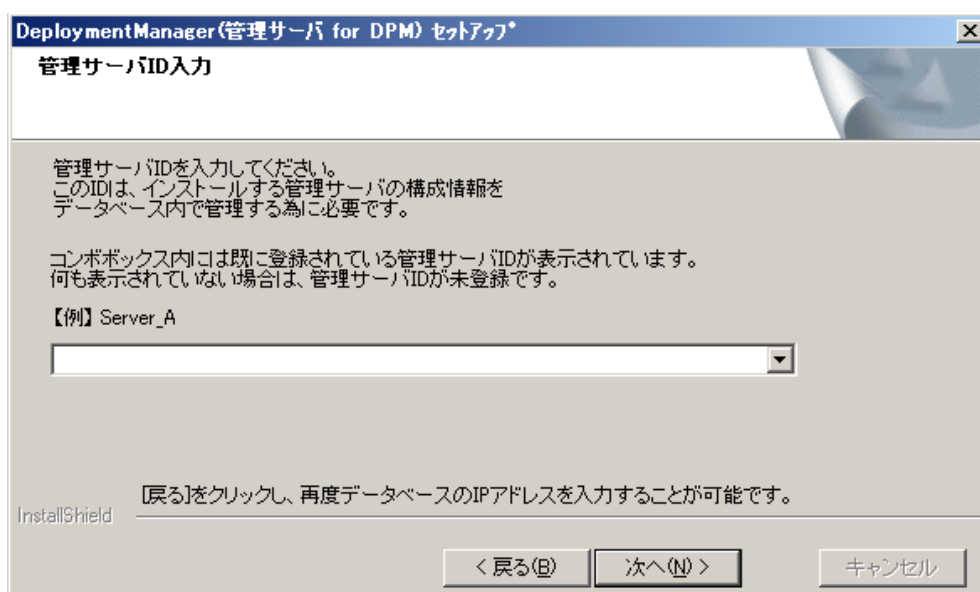
```
-----
NULL
(1 行処理されました)
(1 行処理されました)
-----
STATUS CODE:2101

データベース 'DPM' の 232 ページ、ファイル 1 のファイル 'DPM' を処理しました。
データベース 'DPM' の 7 ページ、ファイル 1 のファイル 'DPM_LOG' を処理しました。
BACKUP DATABASE により 239 ページが 0.369 秒間で正常に処理されました (5.286 MB/秒)。
-----
0
```

以上で、データベースの設定は完了です。

## 2.3 管理サーバ for DPMのインストール

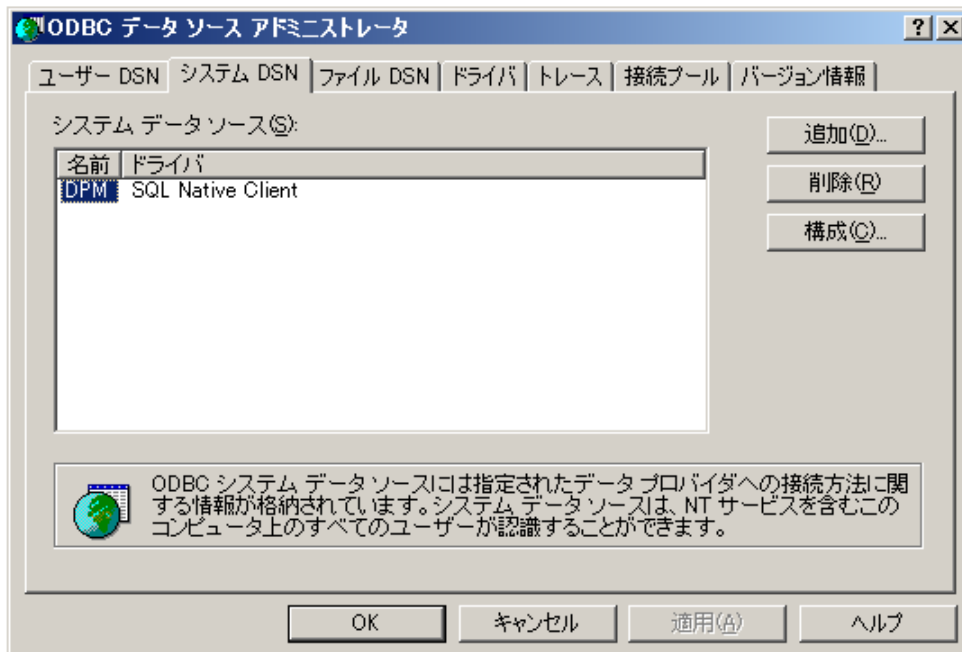
- (1) ユーザーズガイド 導入編「2.3.1 管理サーバ for DPM の標準インストール」を参照して、「データベースサーバ IP アドレス入力」画面まで、インストールを進めてください。
- (2) 「管理サーバ ID 入力」画面が表示されます、この画面を表示している状態で、(3)から(10)の手順に従って DSN の設定を行ってください。



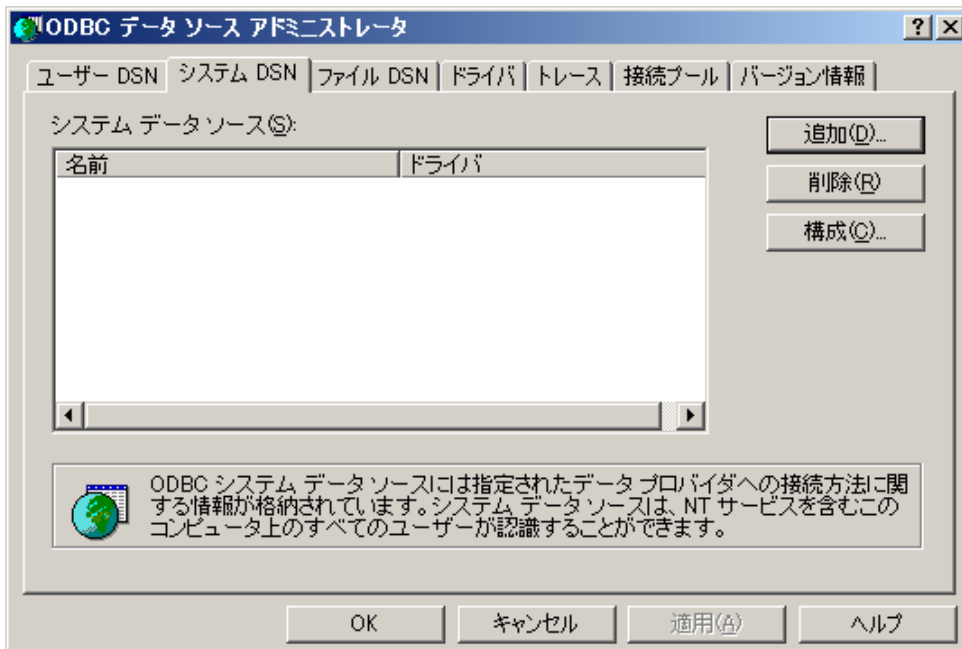
- (3) コマンドプロンプトを起動して、以下のコマンドを実行してください。

odbcad32.exe

- (4) 「ODBC データ ソース アドミニストレータ」画面が表示されますので、「システム DSN」タブを選択します。  
「システム データ ソース」一覧で「DPM」を選択した後に「削除」ボタンをクリックして、「DPM」システムデータソースを削除します。



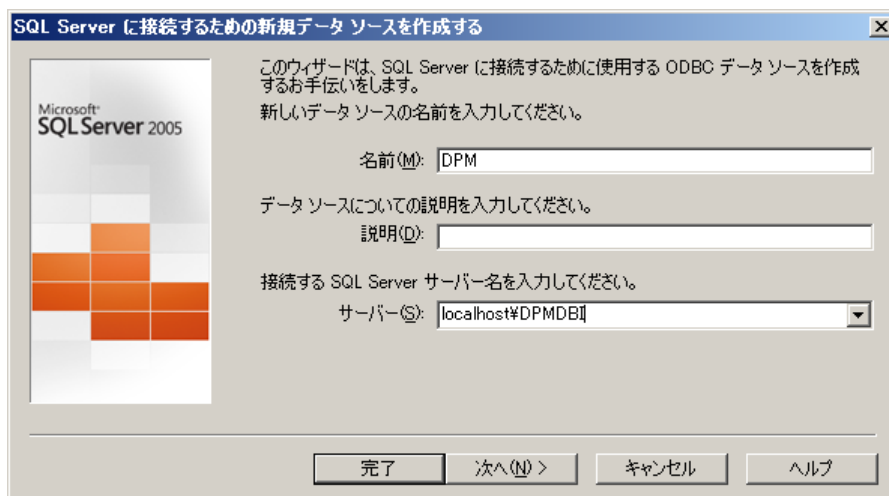
- (5) 続けて、「追加」ボタンをクリックします。



- (6) 「データ ソースの新規作成」画面が表示されますので、「SQL Native Client」を選択した後に「完了」ボタンをクリックします。



- (7) 「SQL Server に接続するための新規データソースを作成する」画面が表示されますので、以下の項目を設定して、「次へ」ボタンをクリックします。
- ・「名前」: 「DPM」と入力する
  - ・「サーバー」: 「localhost#DPMDBI」を選択する



- (8) 以下の画面が表示されますので、「統合 Windows 認証を使う」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

Microsoft SQL Server 2005

SQL Server が、ログイン ID の権限の確認を行う方法は?

- ☒ 統合 Windows 認証を使う(W)
- ☐ ユーザーが入力する SQL Server 用のログイン ID とパスワードを使う(S)

☒ SQL Server に接続して追加の構成オプションの既定設定を取得する(O)

ログイン ID (L): Administrator

パスワード (P):

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル   ヘルプ

- (9) 以下の画面が表示されますので、「既定のデータベースを以下のものに変更する」にチェックを入れて、既定のデータベースを「DPM」に変更後に「次へ」ボタンをクリックします。

Microsoft SQL Server 2005

☒ 既定のデータベースを以下のものに変更する(O):

DPM

ミラー サーバー:

☐ データベース ファイル名を添付(H):

☒ ANSI の引用符付き識別子を使用する(U)

☒ ANSI の NULL、埋め込み文字、警告を使用する(A)

< 戻る(B)   次へ(N) >   キャンセル   ヘルプ

- (10) 以下の画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。

Microsoft SQL Server 2005

☐ SQL Server のシステム メッセージを以下の言語に変更する(O):

Japanese

☐ データに強力な暗号を使用する(O)

☒ 文字データを変換する(P)

☐ 出力時の通貨、数値、日付、時刻の形式にはシステムの地域設定を使用する(U)

☐ 実行時間が長いクエリを以下のログ ファイルに保存する(S):

C:\DOCUMENTS\ADMIN\LOCALS\Temp\QUERY.LOG   参照(R)...

保存するクエリの最短所要時間 (ミリ秒)(L): 30000

☐ ODBC ドライバの統計情報ログを以下のログ ファイルに保存する(O):

C:\DOCUMENTS\ADMIN\LOCALS\Temp\STATS.LOG   参照(R)...

< 戻る(B)   完了   キャンセル   ヘルプ



- (11)「DeploymentManager(管理サーバ for DPM) セットアップ」ウィザードの「管理サーバ ID 入力」画面に戻って、サーバ ID に任意の値を入力して「次へ」ボタンをクリックします。



- (12)「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されますので、「完了」ボタンをクリックして、コンピュータを再起動してください。

以上で、管理サーバ for DPM のインストールは完了です。

### 3 アンインストール

本章では、前述のインストール手順でインストールした各コンポーネントをアンインストールする場合の手順について、説明します。

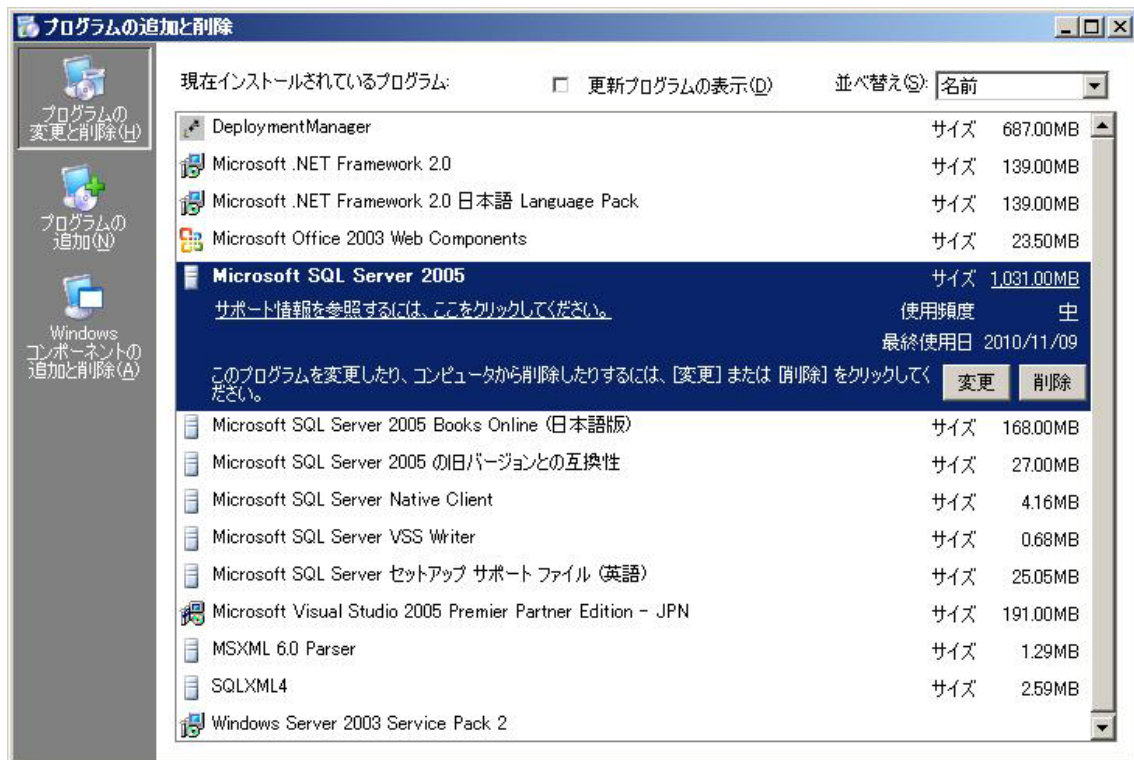
- データベース以外のコンポーネントについては、ユーザーズガイド 基本操作編「21. DPM のアンインストール」を参照して、アンインストールしてください。

なお、JRE/Tomcat のバージョンは、本手順にてインストールしたバージョンに適宜読み替えて作業してください。

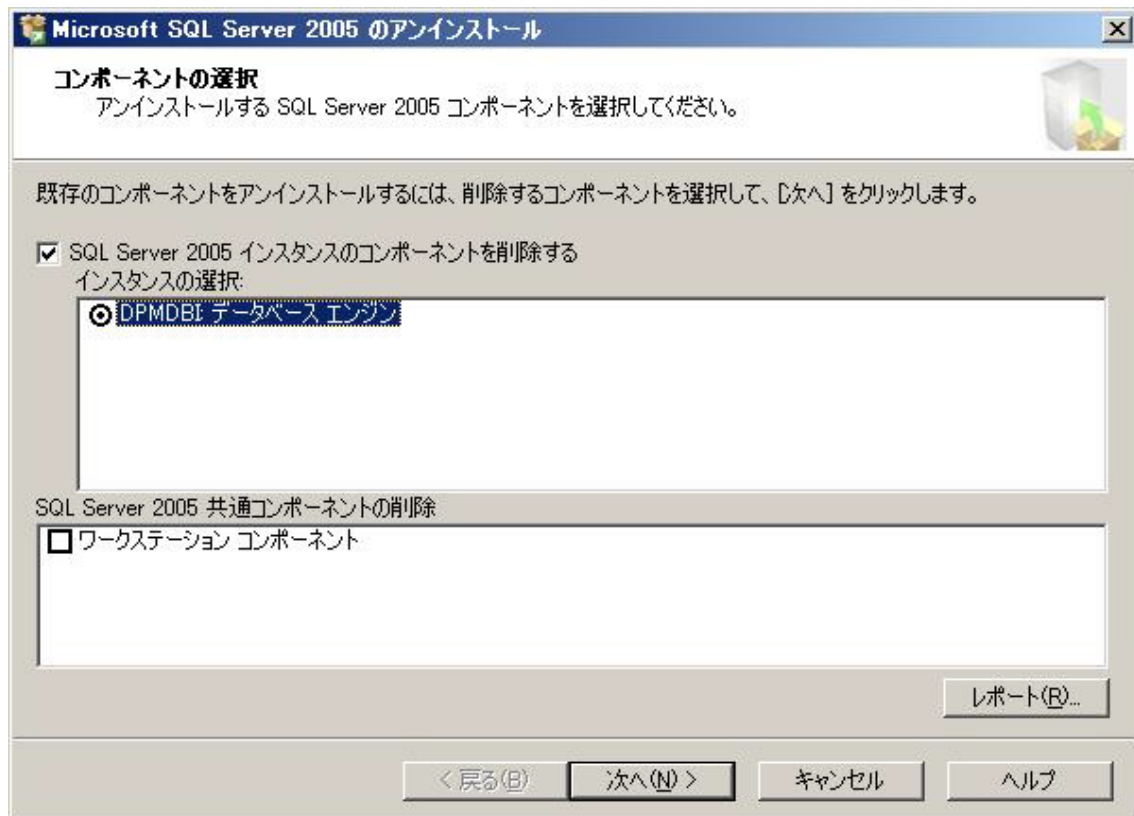
#### 3.1 データベース(DPMインスタンス)のアンインストール

- (1) データベース(DPM インスタンス)が構築されたコンピュータに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) 「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前」に「regedit」を入力して、「OK」ボタンをクリックします。
- (3) 以下のレジストリの「データ」の値と「x」の箇所に記載されている数値を確認します。
  - ・キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Microsoft SQL Server¥DPMDBI¥Setup
  - ・名前: SQLPath
  - ・データ: (SQL Server 2005 製品版インストールフォルダ)¥MSSQL.x¥MSSQL
  - 例) データ: C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.1¥MSSQL
- (4) 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」をクリックして、「プログラムの追加と削除」を起動します。

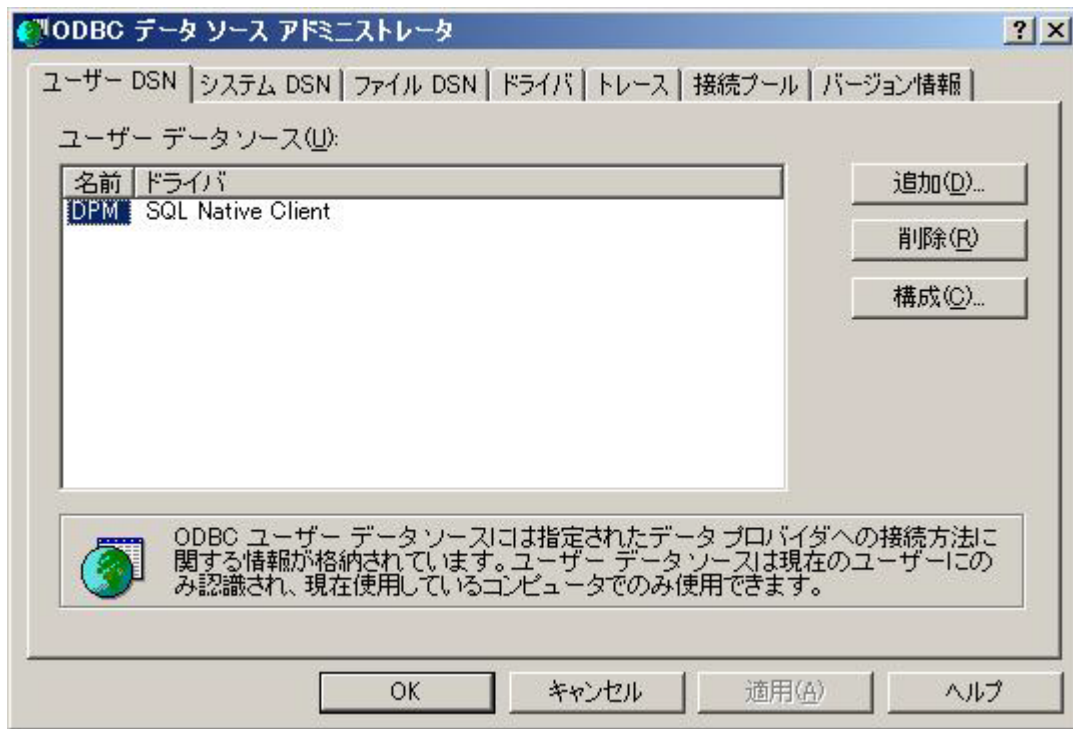
- (5) 「Microsoft SQL Server 2005」を選択し「削除」ボタンをクリックして、Microsoft SQL Server 2005 のアンインストールプログラムを起動します。



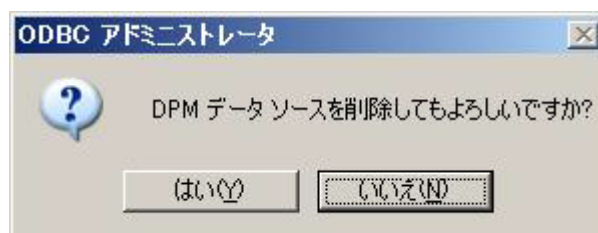
- (6) 「Microsoft SQL Server 2005 のアンインストール」の画面で、「DPMDBI データベースエンジン」をチェックして、「次へ」ボタンをクリックします。



- (7) 「Microsoft SQL Server 2005 のアンインストール」の確認画面で、アンインストールする「データベースエンジン:DPMDBI」を確認して、「完了」ボタンをクリックします。
- (8) 「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前」に「odbcad32」を入力した後に「OK」ボタンをクリックします。
- (9) 「ODBC データソースアドミニストレータ」の画面で、「DPM」を選択して、「削除」ボタンをクリックします。



- (10) 以下の確認画面で、「はい」ボタンをクリックします。



- (11) 「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」を選択して、「名前」に「regedit」を入力した後に「OK」ボタンをクリックします。

- (12) 以下のレジストリのキーが存在しないことを確認してください。以下の「x」は手順(3)の「x」と同じ数字となります。

- ・キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Microsoft SQL Server\DPMDBI
- ・キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Microsoft SQL Server\MSSQL.x

- (13) 手順(3)で確認したレジストリの「データ」値の配下のフォルダをすべて削除します。

- ・キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Microsoft SQL Server¥DPMDBI¥Setup
- ・名前: SQLPath
- ・データ: (SQL Server 2005 製品版インストールフォルダ)¥MSSQL.x¥MSSQL  
例) データ: C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL.1¥MSSQL

(14) 以下のレジストリキーを削除します。

- ・キー: HKEY\_LOCAL\_MACHINE¥SOFTWARE¥NEC¥DeploymentManager\_DB

以上で、データベース(DPMDBI インスタンス)のアンインストールは完了です。